

令和 8 年 度 予 算 要 求

No. 1

事業名	災害対応システム導入事業		
担当部署名	危機管理局 危機管理課		
区 分	新規	事業期間	令和 8 年度
事業目的	システムの導入により気象情報を一元管理し、災害発生時において速やかに避難情報等の発令できる体制を整えるとともに、関係部署間で災害状況の把握・共有の強化を図り、応急対応の漏れを無くすことで、防災力の向上を目指す。 また、災害対策本部員会議等での対応協議を円滑に進めるため、システム画面を共有するための情報機器を購入する。情報機器については、平時の会議等でも利活用を図る。		
事業概要 (案)	災害対応システムには以下の機能があり、災害時の現状把握の他、避難所や災害用備品の管理に対応している。 ・ 災害情報の時系列管理 ・ 気象庁、国交省河川情報、監視カメラ等から得られる気象情報の一元管理 ・ 避難情報発令判断支援 ・ 避難所管理 ・ 備蓄品管理		
財 源 内 訳	予算要求額	79,852 千円	内容・算出根拠 災害対応システム導入 76,043 千円 (初期費用 72,369 千円 維持費用 3,674 千円) 備品購入費 3,809 千円 (情報機器等)
	国	39,925 千円	
	県	0 千円	
	地方債	35,933 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	3,994 千円	

No. 2

事業名	災害用トイレ整備事業		
担当部署名	危機管理局 危機管理課		
区 分	新規	事業期間	令和 8 年度
事業目的	災害時には、西尾駅及び周辺施設に多くの帰宅困難者が発生することが想定されることから、トイレ環境の整備を行うとともに、緊急時の水源確保のための災害用井戸を設置し、災害発生時に備える。		
事業概要 (案)	西尾駅東駅前広場に、災害発生時に帰宅困難者：約 500 人が 1 日 5 回、3 日間使用できる規模のマンホールトイレ（5 基）の整備する（便器やトイレ上屋を収納できるベンチの設置も含む）とともに、災害用井戸（1 箇所）を設置する。		
財 源 内 訳	予算要求額	22,600 千円	実施設計委託料 8,000 千円 工事費 14,600 千円 【内訳】トイレ・便器・上屋 8,600 千円 収納ベンチ（2 期） 3,000 千円 井戸 3,000 千円
	国	11,300 千円	
	県	0 千円	
	地方債	9,400 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	1,900 千円	

No. 3

事業名	空家等対策計画策定支援事業		
担当部署名	市民部 地域つながり課		
新規区分	新規	事業期間	令和 8 年度～令和 10 年度
事業目的	空家等の除却や改修などについて財政支援等を行うことで、管理されていない空家等が整理され、現状、市民が空家等から受けている不安が軽減し、良好な住環境の形成を図る。		
事業概要	令和 8 年度 市全域を対象とした実態調査を実施（業者委託） 令和 9 年度 西尾市空家等対策計画（仮称）の策定（業者委託） 令和 10 年度以降 計画の策定を受けて、改修や除却に係る補助金等の運用を開始		
予算要求額	13,486 千円	内容 ・ 算出 根拠	実態調査業務委託料 13,486 千円
財 源 内 訳	国	0 千円	
	県	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	13,486 千円	

No. 4

事業名	マイナンバーカードサテライトオフィス事業		
担当部署名	市民部 市民課		
新規区分	新規	事業期間	令和 8 年度～令和 10 年度
事業目的	マイナンバーカードの発行・更新等の待ち時間の減少及び窓口の分散化。		
事業概要	土日、祝祭日も営業している大型商業施設にサテライト窓口を新設し、マイナンバーカードの申請、更新業務などの事務を行うことで、市役所一極集中を解消し分散化を図る。これにより、マイナンバーカードの手続きが、平日の日中以外でも可能となり、市民の利便性の向上にも繋がる。 また、住民票等が発行可能なマルチコピー機も併設し、行政サービスのデジタル化を推進する。		
予算要求額	72,993 千円	内容 ・ 算出 根拠	人件費等 11,088 千円 消耗品費等 525 千円 委託料 42,080 千円 使用料及び賃借料 15,000 千円 工事請負費 3,300 千円 備品購入費 1,000 千円
財 源 内 訳	国	63,436 千円	
	県	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	9,557 千円	

No.5

事業名	大学生インターンシップ活用事業		
担当部署名	産業部 商工振興課		
新規区分	新規	事業期間	令和8年度～令和10年度
事業目的	大学生に地元企業での就業体験や企業の課題解決にチャレンジする実践型インターンの機会を提供することにより、企業の理解を深め、将来的なUターン就職や地域への定着を促進する。 また、受け入れ企業にとっては、若手人材との交流を通じて自社の魅力を再認識・発信する契機とし、今後の人材確保・育成への意欲を高める。		
事業概要	市内企業5社を対象にインターンシップ受け入れの協力を募り、大学生を各企業に派遣する。インターン期間は2～4週間程度とし、職場体験だけでなく、企業の課題解決にチャレンジする実践型のプログラムを実施する。市はインターン受け入れに係る調整、マッチング支援、運営費の一部補助等を行い、企業と学生双方にとって有意義な体験となるよう支援体制を整える。		
予算要求額	6,000 千円	内容・算出根拠	委託料 6,000 千円
財源内訳	国	0 千円	
	県	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	6,000 千円	

No.6

事業名	地域獣害対策支援事業		
担当部署名	産業部 農水振興課		
新規区分	新規	事業期間	令和8年度～令和10年度
事業目的	野生鳥獣による農作物被害を軽減し、農業振興を図る。		
事業概要	実際に農作物被害が生じている地域において、地域が主体となってそれぞれ必要となる事業を実施する。		
予算要求額	1,078 千円	内容・算出根拠	補助要件【案】 ・防護柵設置 @1,000 円×1,000m=1,000 千円 ・捕獲に対する上乗せ助成（イノシシ） @2,000 円×25 頭=50 千円 ・狩猟免許取得支援 @28,000 円×3 名=84 千円
財源内訳	国	0 千円	
	県	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	1,078 千円	

No. 7

事業名		みどり川桜並木再生事業		
担当部署名		建設部 河川港湾課		
新規区分		新規	事業期間	令和8年度～令和10年度
事業目的		親しまれている桜並木を再生することにより、通行者の安全確保、街並みの景観・美観を保存し、市民に潤いをもたらす憩いの場となるまちづくりの拠点として存続を図る。		
事業概要		北浜川（通称 みどり川）沿い約 900 メートルに約 300 本ある桜の健全測定を行い、その結果により植替え、補植、維持管理など桜並木の再生計画を策定し、桜並木の適正な保存・保全をおこなう。		
予算要求額		11,000 千円	内容 ・ 算出 根拠	桜並木保全計画策定業務委託 11,000 千円（L=900m）
財 源 内 訳	国	0 千円		
	県	0 千円		
	地方債	0 千円		
	その他	0 千円		
	一般財源	11,000 千円		

No. 8

事業名		ブックスタート拡充事業		
担当部署名		教育委員会 図書館		
新規区分		新規	事業期間	令和８年度～令和０年度
事業目的		子育て世帯へ絵本を配布するだけではなく、読み聞かせの重要性を直接伝え、家庭での読みきかせ「家読(うちどく)」の普及を図る。		
事業概要		現状は、４か月児健診の会場で読み聞かせの必要性を伝え、絵本をプレゼントしているが、これに加えて、１歳６か月児健診のタイミングで絵本の引換券を渡すこととする。各図書館で開催しているおはなし会に参加して絵本と引き換えを行い、おはなし会の中でも乳幼児期の読み聞かせの重要性について伝えていく。		
予算要求額		1,210 千円	内容 ・ 算出 根拠	消耗品費 1,210 千円
財 源 内 訳	国	0 千円		
	県	0 千円		
	地方債	0 千円		
	その他	0 千円		
	一般財源	1,210 千円		